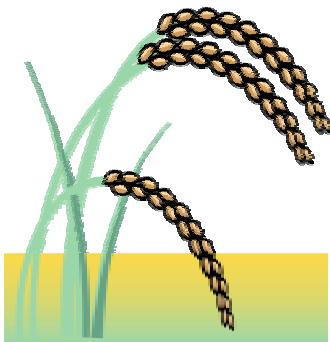




稲穂の実が黄金色に色づく

季節となりました。

なお、この「NscTimes」は、弊社のホームページ
(<http://www.nsc30th.co.jp/>) にも掲載しております。
そちらもご覧下さい。

1. 役立ち情報 (さまざまなソフトをダウンロードしてPCライフを楽しみましょう！)

「窓の杜」(<http://www.forest.impress.co.jp/>) は、
Windows用ソフトウェアの最新情報や
ダウンロード (無料、有料) が行えるサイトです。
ジャンル別 (圧縮・解凍、画像、音楽...) や
五十音順 (かな、アルファベット) の検索ができ、
大変便利なサイトです。



2. 測量体験学習

私たち測量技術者は、国土の利用や
社会資本の整備などの基礎資料を提供しています。
しかしその内容は、非常にじみなものであるため
その存在は目立たず、認知度は低いものです。
そこで、毎年6月3日を「測量の日」とし、
地域のみなさまの関心を高めるよう
各種イベントを全国各地で実施しています。



体験学習の様子 (歩測の説明)



測量機器に触れる生徒達

当社は、去る6月23日、茨城県猿島郡
猿島町立逆井山小学校にて「測量体験学
習」を行いました。

詳しい模様は当社ホームページ内
(<http://www.nsc30th.co.jp/>) にて掲載し
ておりますので、ご覧下さい。また、測量
体験学習につきましては申込を受け付け
ております。

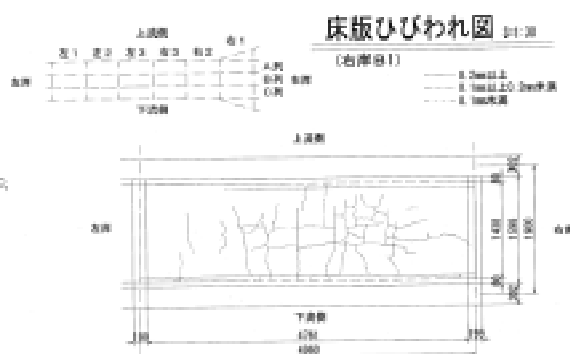
3.受注業務（コンクリート床版のひびわれ調査・対策工設計）

日本の橋梁で、耐用年数 50 年を越えるものは 6000 橋あり、今後年々増加していきます。コンクリートの劣化は、施工後 10 年から 20 年で顕在化すると言われ、日本の橋梁のほとんどは、その時期に至っております。半世紀にわたって蓄積された橋梁という資産をできるだけ長く活用するためには、「適切に維持管理して、耐荷力・耐久性を維持する。」ことが重要となります。

当社では、5 年程前より橋梁及び河川構造物に対する老朽化診断、劣化診断等について、各種 DATA を蓄積、研修さらに業務受注を行ってきました。平成 16 年 3 月には橋梁定期点検要領（案）が制定されました。当社では、同年 5 月の同要領（案）に準じた「橋梁点検技術研修会」に参加しました。新しい要領における点検、老朽化診断、補修・補強設計を再確認することにより、橋梁の維持管理者のお役に立ちたいと思っています。



床版損傷度のチョーキング



- (業務内容)
- 1.構造物点検（定期点検、詳細点検、追跡調査）
 - 2.対策区分の判定
 - 3.補修・補強検討・実施設計

4.編集後記

今回、NSCTimes も創刊3年目に突入いたしました。これからも、お客様との情報交換の場になれる様、頑張って作成していこうと思います。皆様宜しくお願いいたします。またご指導ご要望がございましたら、メールにていただければと考えております。
作成スタッフ一同



株式会社 新星コンサルタント 〒300-2721
茨城県結城郡石下町篠山 885
TEL 0297-42-3333 FAX 0297-42-3334
URL <http://www.nsc30th.co.jp/>
e-mail shinsei@nsc30th.co.jp

